



2011年 第1号 発行日2011.8.1

医療法人ウイング 高城病院

# ウイング ICT 新聞

こんにちは。記念すべき第一回ウイングICT新聞です。

今後月に一回、感染対策に必要な情報を皆様にわかりやすくお伝えしていきますので  
よろしくお願ひします。

## 「そうだったのか、B型肝炎ワクチン」

第一回は「そうだったのか、B型肝炎ワクチン」です。

針刺し事故マジ嫌ですよねー。特にB型肝炎は30%の確率で感染するといわれ（C型肝炎  
の10倍、HIVの100倍）感染力最強のウイルスです。

CDCの報告によると患者さんからB型肝炎に感染した医療従事者を調査すると大部分が針  
刺し事故を起こしておらず、その2/3の医療従事者はB型肝炎の患者さんをケアしたこと  
すら覚えていません！！

すなわち採血後、周辺に飛び散った肉眼的に見えない微量の血液の付着した環境表面から  
手指の引っ掻き傷などから感染している可能性が高いのです（無茶、恐っ！！）

なぜならB型肝炎ウイルスは環境表面でも1週間は生存することができるからです。（他  
の大部分のウイルスは数日で死滅します）

よって針刺し事故をしなくても知らない間にB型肝炎に感染する可能性が高く、やはり医  
療従事者はB型肝炎に対する抗体（HBs抗体）を獲得し、知らぬ間にB型肝炎ウイルスが体  
内に入ってきて大丈夫なようにしておかなければなりません。

B型肝炎のワクチンは当日、1ヶ月、6ヶ月に筋肉注射します。

これで大部分の方は抗体ができます。

これで針刺しに関しては少しは安心です。もし抗体なくB型肝炎の患者さんで針刺しした  
ら、そりゃあもー大変ですー！！ー大事です！！！！

よって抗体ない方は必ずワクチンを打ちましょう。

以上、ICTウイング新聞でした。第2回も楽しみにして下さいね。

文責 高城 暁